

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】

(2004年12月2日～

2005年1月17日分)

ファインアーク、Ogg Vorbis 対応サウンドデコーダ LSI を開発

ファインアークは、MP3、WAV に加え、Ogg Vorbis にも対応した DAC 搭載のサウンドデコーダ LSI 「FS-500 (FA3121037)」を開発・試作したと発表した。

ファインアークでは、2003年7月15日に「Ogg Vorbis 対応携帯音楽プレーヤー用システム IP」を発表。FS-500 は、このシステム IP の処理性能を実チップとして検証するために開発・試作したもの。

同システム IP は、ハードウェアとファームウェアのアーキテクチャを工夫することで、Ogg Vorbis の再生処理をソフトウェアで実装していながら、低クロック・省メモリでの動作を実現したとしている。

32bit の RISC CPU を内蔵しており、組み込み機器のメインコントローラとして利用できるほか、ホストインターフェイスを介してホストコントローラの制御下でサウンド処理専用のサブマイコンとしても使用可能。

また、方式の DAC も内蔵しており、PWM 入力の D 級アンプなどの外付け部品を追加するだけで、システムを構築できる。

さらに、また、ファームウェアは低クロックでも高効率で動作できる特徴を活かし、複数の Ogg Vorbis 音源を同時再生し、イコライジングやエコー、パン、位相シフト立体音像(3D 再生)などの特殊再生機能も実現できるとしている。

対応フォーマットは MP3、WAV (PCM/ADPCM)、Ogg Vorbis、さらに、WMA、AAC、AC3 への対応も予定している。サンプリング周波数は 32kHz、44.1kHz、48kHz に対応。単 3 電池 1 本で Ogg Vorbis 音声ファイルを連続 38 時間再生できる。電源電圧は IO 部が 3.3V、コアが 1.8V。パッケージは試作機が 144 ピンの LQFP。製品版が 176 ピンの FBGA になる予定。

なお、同社では玩具、電子辞書、家電品、家庭内設備機器、セキュリティ機器などの組み込み機器に、音楽・音声・警告音・効果音などのサウンド再生機能を手軽に実現するソリューションとして、ローエンド向けの低価格モデルとして「FS-300」も開

発しているとしている。

(1/17)

シーグランド、ステレオスピーカー内蔵の 4GB HDD プレーヤーを発表

シーグランドは、SD メモリーカードスロットを搭載した 4GB HDD オーディオプレーヤー「X-One (クロスワン)」を 2005 年 1 月 28 日より発売すると発表した。

X-One は、4GB HDD を搭載したオーディオプレーヤー。MP3 と WMA ファイルの再生に対応し、WMA DRM もサポートする。対応ビットレートは MP3 が 16～320kbps、WMA が 32～192kbps。

日本語表示に対応した白色バックライト液晶を搭載。本体中央にスティック式のコントローラを装備。右側面の再生/停止ボタンとあわせて基本操作が行なえる。

また、SD メモリーカードスロットを装備しており、SD メモリーカード上のデータを HDD にコピーできる。なお、SD カード上の音楽ファイルの直接再生には対応しないほか、HDD から SD へのデータ書き出しもできない。

ライン入力や FM チューナを内蔵するほか、ボイスレコード/FM 録音/ライン録音機能も搭載する。録音形式は MP3 でビットレートは 64～192kbps (ライン)/16～64kbps (ボイス)/32～128kbps (FM) から選択できる。

USB 2.0 端子を装備し、USB ストレージクラスに対応。パソコンからドラッグアンドドロップでオーディオデータの転送が可能となっている。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP。

バッテリーは内蔵リチウムポリマー電池で連続駆動時間は約 11 時間。AC アダプタでの充電のほか、USB 充電にも対応する。充電時間は 3 時間 (AC アダプタ)/4 時間 (USB)。外形寸法は 80×56×22.4mm (縦×横×厚み)、重量は 100g。イヤホンやキャリングケース、AC アダプタなどが付属する。

ボディカラーはシャンパンゴールドとライトブルー。価格はオープン。

(1/17)

アルパイン、iPod をサポートしたカー CD ユニートを発表

アルパインは、iPod に対応したカー CD ユニット 5 モデルと iPod 専用インターフェイスアダプタを 2005 年 2 月上旬より順次発売すると発表した。

新ヘッドユニットシリーズでは全モデルで、iPod 用インターフェイスアダプタ「KCA-420i」に対応し、iPod の操作や、曲名表示などが行なえるのが特徴。

iPod アダプターの「KCA-420i」は、iPod ケーブルと Ai-NET ケーブルを使用して、iPod とヘッドユニットを接続できる。iPod の充電も可能となっている。

最上位モデル「CDA-9855J」と iPod アダプタセットモデル「CDA-9855Ji」では、iPod で漢字/かなファイル名も表示可能となっている。対応 iPod は Dock ネットワーク搭載の第 3 世代 iPod (以降) と iPod mini。

(1/14)

ソニー、高速型メモリースティック PRO 発売を 4 月に再延期

ソニーは、2005 年 2 月 10 日の発売を予定していた高速型メモリースティック PRO の発売を 2005 年 4 月下旬に延期すると発表した。同製品の発売延期は 2 度目。

対象となるのは「メモリースティック PRO」(High Speed)の容量 256MB～2GB と、「メモリースティック PRO デュオ」(High Speed)の 256MB～1GB すべて。

発売延期の理由については、メモリースティック対応機器との動作確認に予想以上の時間を要しているため、としている。

メモリースティック PRO/PRO デュオ (High Speed) は、データ転送速度 10MB/sec を実現した製品。2004 年 9 月の発表時には 2004 年 10 月 8 日の発売を告知。その後、2004 年 10 月 7 日に延期を発表し、2005 年 2 月 10 日に発売するとしていた。

(1/14)

アップル、フラッシュメモリ採用の小型「iPod shuffle」発表

アップルコンピュータは、同社初のフラッシュメモリーオーディオプレーヤー「iPod shuffle」を発表した。

再生できるフォーマットは MP3 (8 ~ 320Kbps、VBR 対応)、AAC (8 ~ 320Kbps)、プロテクトド AAC (iTunes ミュージックストアから購入したファイル)。周波数特性は 20Hz ~ 20,000Hz。

内蔵メモリの容量により 512MB モデル「M9724J/A」と、1GB モデル「M9725J/A」の 2 モデルをラインナップする。

液晶ディスプレイは搭載しておらず、内蔵メモリのみに、メモリスロットなども装備しないシンプルなデザインを採用。外形寸法 24.9 × 83.8 × 8.3mm (幅 × 縦 × 厚み)、重量 22g の小型サイズを実現している。

操作系は、エルゴノミック設計の円形コントローラに加え、背面にスライダー型スイッチを採用。再生や一時停止、スキップ・リビート・シャッフルの各再生操作や、ホールドスイッチを、親指だけでワンタッチ操作が可能となっている。

USB 2.0 端子を本体底部に装備しており、パソコンに直接接続することができ、ファームウェアのアップグレードにも対応している。充電も USB 経由で行ない、4 時間で満充電できる。なお、AC アダプタ (USB 電源アダプタ) は別売りとなっている。連続再生時間は、最長 12 時間。

PC との連携ソフトには、従来の iPod と同様に「iTunes」を使用する。曲の転送は、手動でのドラッグ&ドロップに加え、ミュージックライブラリ全体からのオートフィル (完全に新しいミックス用) や、特定のプレイリストの曲でのオートフィルが可能。

また、音楽以外のファイルも保存でき、ファイル記録用に残しておく容量と、オートフィル機能で入れられる音楽の容量を指定できる。

USB キャップや、ネオジウム製トランスデューサーマグネットの直径 18mm ドライバを使用したインナーイヤ型ヘッドフォン、ネックストラップが付属する。
(1/12)

デジオン、PSP 用音楽オーサリングソフトの開発を表明

デジオンは、ソニー・コンピュータエンタテインメント (SCEI) の携帯ゲーム機「PSP」を携帯型音楽プレイヤーとして利用するための、音楽ファイル作成・編集・オーサリングソフトを開発すると発表した。

企画されているソフトは、PC 上で音楽 CD からのリッピングや、編集、PSP で再生できる MP3 フォーマットへのエンコード、メモリースティックへの保存などの作業が、簡単にこなえるという統合型ソフトウェア。

開発は 2005 年の第 1 四半期中に行う計画。デジオンでは、当該製品を自社ブランドで販売する予定のほか、PC や周辺機器メーカーへの OEM 供給を予定している。
(1/7)

米 SanDisk、USB 端子付きの SD メモリーカード

米 SanDisk は、USB 端子を内蔵した SD メモリーカードを発表した。

USB 端子は SD メモリーカードの端子の反対側に内蔵されており、カバーを跳ね上げることで USB 端子を USB ポートに挿入できる。

USB は USB 2.0 (High-speed) に対応。本体にはデータ転送時に点滅する LED を装備する。

2005 年第 1 四半期の製品化を予定している。
(1/7)

USEN、光ファイバサービスの取り付け総数が 12 月末で 23 万件を突破

有線ブロードネットワークス (USEN) は、2004 年 12 月 31 日現在でのブロードバンド事業の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が前月比 20,639 増の 367,133 件、回線が開通している取付数が前月比 17,131 増の 231,702 件となった。取付数が 5 ヶ月連続で毎月 1 万件を越えて累計 23 万件を突破した。

なお、取付数の内訳では、戸建てが前月比 7 減の 8,496 件、集合住宅が前月比 16,365 増の 206,540 件、法人用途のオフィス・商業ビルが前月比 773 増の 16,666 件となっている。

同様に、集合住宅における 1 棟あたりの平均加入戸数は 5.23 (集合住宅 6.97、法人用途のオフィス・商業ビル 1.28)、集合住宅取付棟数は前月比 1,580 増の 42,692 (集合住宅 29,626、法人用途の

オフィス・商業ビル 13,066) となっている。
(1/6)

三菱マテリアル、オーディオ伝送用 PLC モジュールを開発

三菱マテリアルは、オーディオデジタル伝送用の高速電力線通信 (PLC) モジュールを開発し、販売を開始すると発表した。

今回開発されたのは、家庭内の電力線で HF 帯域 (2M ~ 30MHz) を利用して、CD 音質クラスのオーディオデジタル伝送を可能とする、世界最小クラス 40mm × 25mm の小型モジュール。

これにより、携帯電話でダウンロードした音楽を別の再生装置に転送するなど、家庭のコンセントに接続するだけでどこからでも音楽が楽しめるネットワークが構築できるとしている。

モジュールは電力線通信に必要な不可欠な雷サージ対策回路、及び漏洩電界低減回路技術と共に、北米やヨーロッパ、アジア市場などで販売を開始する。

現在、日本国内では電波法により HF 帯域を利用した PLC の利用はできないが、三菱マテリアルでは 2006 年にも規制解禁の方向としている。
(1/6)

「着うたフル」が累計 100 万ダウンロード突破

KDDI および沖縄セルラーは、EZ「着うたフル」の累計ダウンロード数が 1 月 5 日で 100 万曲を突破したと発表した。

EZ「着うたフル」は、2004 年 11 月 19 日より開始された携帯電話向け音楽配信サービス。楽曲 1 曲をまるごと携帯電話にダウンロードできるのが特徴で、サービス開始から 48 日間で 100 万ダウンロードを突破した。

2004 年 12 月未現在で EZ「着うたフル」対応サイト数は 7、対応曲数は約 1 万曲。同様に着うたフルに対応する機種は「W21CA」「W21T」「W22SA」「W22H」の 4 機種で、4 機種合計の契約数は 41 万台。

また、「着うた」の累計ダウンロード数が 2004 年 12

月末時点で1億6,000万ダウンロードを突破したこともあわせて発表されている。

(1/6)

ソニー、松下、三菱、電力線通信のアライアンスを設立

ソニーと松下電器産業、三菱電機の3社は、家庭に既設された電灯線を通じて、高精細な映像コンテンツの家庭内配信やIP電話などを可能にする高速電力線通信(PLC)の相互接続仕様の確立に向け、アライアンスを設立することで合意したと発表した。

アライアンスの仮称は「CEPCA」(CE-Powerline Communication Alliance)。

PLC(Power Line Communication)は、通常の家庭で利用している電源ラインに、電力だけでなく、デジタルデータも流し、電源ラインを通信回線として共用するといった技術。

既設された電灯線を利用できるため、新規導入のコストが低く、家庭内に接続ポイント(電源コンセント)が多く、接続が簡単で、無線ネットワークよりもセキュリティ面の信頼性が高いなどの利点があり、次世代ホームネットワーク技術として電力会社や通信機器メーカーなどが独自に開発を進めている。

しかし、PLCを基盤としたホームネットワークを宅内に構築するためには、同ネットワークに接続する機器を供給するメーカー間における共通仕様の確立が求められている。

設立されるアライアンスは非営利組織として日本国内だけでなく、欧米のコンシューマーエレクトロニクスメーカーやIT企業にも参加を呼びかけ、世界中の人々が安心してPLCを基盤としたホームネットワークを使える環境を整備していくとしている。

(1/6)

日立 GST、20%小型化した1インチHDD「Mikey」を発表

日立グローバルストレージテクノロジーズ(HGST)は、従来より20%の小型化を実現した1インチHDD「Mikey」(マイキー)と、30%小型化した1.8インチHDD「Slim」(スリム)の2モデルを、2005年後半に製品化すると発表した。

Mikeyは、1インチHDDとして業界最小の外寸寸法30×40×5mm(縦×横×厚さ)を実現。携帯音楽プレーヤーなどへの組み込み用途を想定しており、容量は8~10GBになる予定。重量は14g。

また、サイズだけではなく、LSIチップセットの改良で従来のMicrodriveと比べ、40%の消費電力を低減。動作時の耐衝撃性能も現行のMicrodriveの2倍になるほか、ドライブパンパーを周囲に取り付けることで、より高い耐衝撃性能を実現している。

1.8インチのSlimは、ブラッグが1枚のモデルと2枚のモデルの2種類を用意。容量は1枚モデルで30~40GB、2枚モデルで60~80GBになる予定。1枚モデルの外寸寸法は71×54×5mm(縦×横×厚さ)と薄型で、2枚モデルでも厚さは8mmに抑えられている。

組み込み用途としては、占有面積を抑え、容量が大きいことから、大容量の携帯音楽プレーヤーや、ポータブルビデオプレーヤー、外部ストレージ、サブノートPCなどを想定している。なお、インターフェイスはMikeyとSlimのどちらも、デジタル家電で広く使われているZIFコネクタを採用している。

また、Intelが主導するコンソーシアムであるCE-ATAインターフェイス仕様に準拠する予定としている。

(1/6)

日立、KDDIから1xEV-DOの「Revision A」対応基地局を受注

日立製作所情報・通信グループは、CDMA2000 1xEV-DOの新規格「Revision A」に対応した基地局をKDDIより受注したと発表した。

Revision Aは、2004年3月に策定されたCDMA2000 1xEV-DOの新規格。従来最大2.4Mbpsだった下りスループットが3.1Mbpsに高められたほか、ネットワーク内の複数のユーザーに対して映像コンテンツなどを同時に送信できる「マルチキャストサービス」、QoS(帯域保証)がサポートされている。

同社が納入する基地局はKDDIの2GHz帯を利用したサービスで使用される見込みで、2006年度から全国展開される計画となっている。

(1/5)

NEC、P2Pで100億人のネットワークを構築するプラットフォームを開発

NECは、P2P技術を用いて各種コンテンツを安全に流通させるためのソフトウェアライブラリ「P2PWebプラットフォーム」を開発したと発表した。

P2PWebプラットフォームは、情報を効率的に管理する分散ハッシュテーブル(DHT)技術を利用してサーバーを介さず端末同士がP2Pで情報交換できる情報流通プラットフォーム。

DRM技術を利用したトレーサビリティや、暗号を利用したアクセス制御などの技術が搭載されており、著作権を保護しながらコンテンツの流通が可能で、掲示板やブログなどのコミュニティサービスにも利用できるとしている。

NECでは、分散したコンピュータ・ネットワーク資源を共有することによるP2Pのスケラビリティのメリットを最大限に追求し、将来的には100億人規模のネットワークでも、情報交換し合えることを目標として研究開発を進めている。

コンシューマ向けのサービスなコミュニティ情報共有システム、大規模な掲示板システムとして利用できるだけでなく、企業においてもバーチャル組織での情報共有などさまざまな利用シーンが考えられるとしている。

利用の第1弾としては、技術者などのプロフェッショナル・コミュニティで情報共有する基盤技術として採用される見込みで、2005年度の実用化に向けてアプリケーションを開発中としている。

(1/4)

東芝、「gigabeat F」の一部に充電できない不具合

東芝は、2004年11月に発売したカラー液晶搭載1.8型HDD内蔵オーディオプレーヤー「gigabeat Fシリーズ」の一部に、充電できない不具合があることが判明したと発表した。

対象製品はgigabeat F10/20/60の3モデル。同社では「不適合部品の混入によって、充電ができないものがあることが判明した」としている。

対象製品については、2005年1月8日から順次、対策済み製品との交換が予定されており、製品交換の準備が整い次第、製品交換日などにつ

いて連絡される。

対象の製造番号は発表リリースページで公表されている。

(12/29)

クリエイティブ、Zen Microのパープル/ライトブルー/ピンクを発売

クリエイティブメディアは、5GB HDD プレーヤー「Zen Micro」のパープル(CZM5G-PU)/ライトブルー(CZM5G-LB)/ピンク(CZM5G-PK)モデルを、2004年12月28日より同社直販サイト「クリエイティブオンラインショップ」限定で販売開始すると発表された。

Zen Microは5GBのHDDを搭載したオーディオプレーヤー。1.4型/160×104ドットのブルーELバックライト付き液晶ディスプレイを装備し、液晶下の操作部にはタッチパネルを採用する。操作はタッチパネルのほか、付属のリモコンでも行なえる。

MP3/WMAの再生に対応。ボイスレコーディングやFM録音機能も装備する。また、PC上のOutlookとの連携機能も搭載している。

製品発表当初に10色のカラーバリエーションの投入を予告していたが、2004年11月中旬にブラックとシルバーを発売、今回の3色で全10色のラインナップが出揃うこととなる。

(12/27)

パーテックス、iAUDIO G3用WMA DRM対応ファームウェア

パーテックスリンクは、シリコンオーディオプレーヤー「iAUDIO G3」の最新ファームウェアを公開した。

最新ファームウェアでは、WMA DRMに対応し、WMA形式で配信された著作権保護機能付きの楽曲再生が可能となる。また、録音ファイル形式にADPCMフォーマットのWAVを追加した他、多くの不具合修正などが含まれている。

プログラムサイズは4.22MB。

(12/24)

ソニー、VAIO pocketをMP3に対応させるアップデート

ソニーは、ポータブルHDDオーディオプレーヤー「VAIO pocket」(VGF-AP1)のファームウェアと、転送ソフト「music move」用のアップデートを公開した。

公開されたファームウェアは「Ver.3.0.0.C171J」で、同時に公開された「music move」のアップデート「Ver.1.2.00」や「SonicStage Ver.2.3」を利用することで、MP3ファイルをATRAC3フォーマットに変換せずにMP3のまま転送や再生が可能になる。

なお、再生可能なMP3ファイルは、32kbps～320kbpsの固定ビットレートのRawMP3ファイルで、可変ビットレートのMP3ファイルの場合はカウンターなどが正常に表示されない場合があるという。

このほか、新ファームウェアでは、電源オフ時に液晶ディスプレイに時計を表示する機能の追加、ギャップレス再生機能の追加、設定メニューの項目の順序を変更、リモコンの再生/停止ボタン長押しで電源を切れる機能の追加など、34項目の仕様変更が施される。

また、ボリュームの操作を他の操作と同時にを行うと音量が変化し続ける不具合が修正される。

(12/24)

オリンパス、5GB HDD搭載オーディオプレーヤーをアップデート

オリンパスイメージングは、5GB HDD搭載のオーディオプレーヤー「m.robe MR-100」の最新ファームウェアバージョン2.10を公開した。

バージョン2.10では、リモコンとの組み合わせによる操作が安定化されたほか、楽曲名などに特殊記号“/”、“&”等の文字が使用できるようになった。

ファイル容量は約2.6MBで、Windows 2000/XP環境のPCと接続してアップデートできる。

また同時に、「m.robe」に添付される、リミックス映像の作成が可能な専用アプリケーション「m.trip」も「m.trip 1.03」にアップデートされた。ファイル容量は約7.4MB。

今回のアップデートで、内部データベースを自動バックアップされるようになったほか、DRM付きWMAファイルをドラッグ&ドロップでライブラリに追加できるよう

になり、アーティスト名に128バイトを超える文字を使用できるようになった。

(12/24)

Listen Japan、配信音楽ファイルのCD書き込みが可能に

リスンジャパンは、同社が展開している有料音楽配信サイト「Listen Japan」において、2004年12月24日からダウンロードした楽曲ファイルをCDに書き込めるように利用制限ルールを変更すると発表した。

Listen Japanでこれまで配信された楽曲(WMA)ファイルは、PC、およびWindows Media Digital Rights Management (DRM)に対応したポータブルオーディオプレーヤーでのみ再生や転送が可能だったが、2004年12月24日の正午からルールが変更され、購入したファイルを10回まで音楽CD(CD-DA)にも書き込めるようになる。

対象となる楽曲は東芝EMIが提供する楽曲と、同日から配信されるワーナーミュージック・ジャパンの楽曲で、計約6万曲。

また、これまでDRMに対応したポータブルオーディオプレーヤーには3回転送が可能だったが、同日から東芝EMIの提供する楽曲の転送回数が無制限になる。ただし、ワーナーの楽曲は3回までに制限されるが、固有識別機能を備えたプレーヤーには最大3台まで、何回でも転送できる。

なお、楽曲ファイル毎に利用制限ルールが異なるため、同社ではCDへの書き込みの可否、ライセンスバックアップの可否、DRM対応プレーヤーへの転送回数などを示したアイコンを楽曲のページ毎に表示するようにサイトデザインの一部を変更する。

(12/22)

東芝、「gigabeat F」用ファームをアップデート

東芝は、1.8型HDD内蔵オーディオプレーヤー「gigabeat F」シリーズ用の最新ファームウェアと、同ファームウェアを適用することで利用できる背景画像転送ソフト「gigabeat wall」を公開した。

対象になるのは、gigabeat Fシリーズの10GBモデルと20GBモデル。同ファームウェアを適用することで、新たにユーザーが背景画像を追加できるように

なる。PC から gigabeat へ画像を転送するには、同日公開された専用ソフト「gigabeat wall」を利用する。

ほかにも、イコライザ動作が改善されるほか、管理・再生可能な最大曲数がそれぞれ 2 万曲まで拡張された。また、電池の残量検出精度も改善された。

ファームウェアのバージョンは 1.06J、ファイルサイズは、ファームウェアが約 7.85MB、画像転送ソフトが約 1.12MB。

(12/21)

京セラ、国内で下り最大 1Mbps の「iBurst」システムの試験開始

京セラは、下りの通信速度が最大 1Mbps という無線通信技術「iBurst システム」の実験局免許を取得し、同社横浜事業所内において試験を開始したと発表した。

「iBurst システム」は、下り最大 1Mbps という通信速度でデータ受信が可能な、いわゆる TDD 方式に分類される通信技術無線通信技術。

オーストラリアでは 2004 年 3 月より商用サービスがスタートしており、京セラは同国の通信事業者に対して iBurst システムの基地局および PC カード端末を供給している。

実験で利用する周波数帯は 2GHz 帯。実験局免許は 1 年間有効なものが割り当てられ、実験を通じて、2005 年には下り最大 2Mbps、2009 年には下り最大 10Mbps という通信速度の実現を目指すとしている。

(12/20)

リオ・ジャパン、新ブランド“SiGN”の日本国内販売を開始

リオ・ジャパンは、AVC Technology 製のフラッシュメモリ内蔵型オーディオプレーヤー「SiGN(サイン)」の 2 モデル「Si-300」および「Si-200C」の日本販売を開始すると発表した。

SiGN は、香港のデジタル機器メーカー AVC Technology のデジタルオーディオプレーヤー。Rio Japan が国内総代理店として販売展開を実施。今後は Rio 製品と SiGN シリーズを併売し、シェア拡大

を目指すとしている。

「Si-300」は、アルミ製の筐体を採用したプレーヤー。ミラーシルバー仕上げのスタイリッシュなデザインが特徴で、イエローとブルーの 2 色表示が可能な有機 EL ディスプレイを搭載している。

内蔵メモリの容量は 256MB。再生対応フォーマットは MP3、WMA、WAV で、ビットレートは MP3 が 16 ~ 320kbps、WMA が 32 ~ 192kbps をサポート。WMA は DRM と VBR もサポートする。

モノラルマイクを内蔵し、WAV フォーマット (ADPCM) での録音も可能。内蔵の FM チューナーでラジオ番組を録音することもできるほか、ライン入力も備えており、CD やテープなどの音声も WAV で録音できる。

PC とのインターフェイスは USB 2.0。ストレージクラスにも対応し、専用ソフトなどを使わずに楽曲の転送が行なえる。フォルダ単位の転送もサポートする。イコライザは「JAZZ」、「Hip Hop」、「POP」など、10 種類のプリセットに加え、ユーザーのカスタム設定も利用できる。

電源は内蔵のリチウムポリマー充電電池を使用。約 4 時間の充電で、連続 12 時間の再生が行なえる。なお、充電は付属の AC アダプタに加え、USB ポート経由での充電もサポートする。

ID3 タグの日本語表示もサポートする。外形寸法は 25.7 × 68.5 × 16.3mm(縦 × 横 × 厚さ)、充電電池を含めた重量は約 38g、発売日は 2004 年 12 月 24 日。

「Si-200C」は、鏡面仕上げのデザインを採用したプレーヤー。液晶ディスプレイと反対側の面にクリスタルを埋め込んでおり、付属のネックストラップタイプのイヤフォンを利用して首から下げ、アクセサリ感覚で持ち歩ける。

内蔵メモリは 256MB。再生対応フォーマットは Si-300 と同様で、MP3、WMA、WAV に対応。ビットレートは MP3 が 16 ~ 320kbps、WMA が 32 ~ 192kbps をサポート。WMA は DRM と VBR にも対応する。

ディスプレイはブルー、イエローの 2 色表示が可能な有機 EL ディスプレイ。ID3 タグの日本語表示もサポートする。PC との接続は USB 2.0 経由で、ストレージクラスに対応。フォルダ単位の転送もサポートする。

イコライザは「JAZZ」、「Hip Hop」、「POP」などの 10 種類のプリセットに加え、ユーザーのカスタム設定も利用可能。さらに、SRS の WOW も搭載している。

電源は内蔵のリチウムポリマー充電電池を使用。約 4 時間の充電で、連続 10 時間の再生が行なえる。充電は付属の AC アダプタに加え、USB ポート経由での充電もサポートする。

外形寸法は 45 × 45 × 13mm(縦 × 横 × 厚さ)。充電電池を含む重量は約 49g。発売日は 2004 年 12 月 27 日。価格はいずれもオープン。

(12/20)

「goo」で、音楽配信サービスを開始

NTT レゾナントは、ポータルサイト「goo」で Windows Media Audio 形式の音楽配信サービス「goo Music Store」を 2004 年 12 月 20 日より開始したと発表した。

料金はシングルが 1 曲ごと 200 円 ~ 350 円でアルバム販売も行なわれる。サービス開始時の楽曲数は約 6 万曲。楽曲の購入には登録無料の「goo ID」と「らくらく決済」への登録が必要となる。

楽曲のコーデックは、Windows Media Audio (WMA) を、DRM には Windows Media Technology Digital Rights Management を採用、再生プレーヤーには Windows Media Player 9 以降が必要。

東芝 EMI とワーナーミュージック・ジャパンの楽曲については、10 回までの音楽 CD への書き出しに対応。東芝や、iRiver、クリエイティブ、Rio、オリンパスなどのポータブルオーディオプレーヤーへ、3 回まで転送できる。

NTT コミュニケーションズの「OCN MUSIC STORE」とプラットフォームを共有しており、NTT グループコンテンツホルダーとの交渉や提携についても、NTT コミュニケーションズや NTT データ・プランニングと連携している。

特徴は「goo」のウェブ検索との連動機能。ウェブ検索は Music Store のスタートにあわせて強化されており、goo でアーティスト情報を検索すると goo の音楽情報「goo 音楽」と、「goo Music Store」からアーティスト写真や関連ニュースやオリコンチャート情報、楽曲ダウンロード先などが上部に表示される。

また、goo の検索キーワード自動補正技術やア

ティスト略称データベースなどにより、アーティストのニックネームや略称からの検索も可能となっている。

新譜情報を RSS 配信するほか、無料の RSS リーダーソフト「goo RSS リーダー」との連携も強化している。また、「goo 音楽」、「goo ショッピング」、「NTT-X Store」との連携も図られている。

さらに、携帯電話に曲を聞かせることで曲名やアーティスト名が判別できる「goo あて!? メロ」でも、検索結果内に Music Store へのリンクを表示することも予定している。

(12/20)

NTT ドコモ、低速移動時における下り 1Gbps の伝送実験に成功

NTT ドコモは、第 4 世代(4G)の携帯電話システムの実現に向けて行っている研究において、無線局が低速で移動していると想定された環境下で下り 1Gbps の信号伝送実験に成功したと発表した。

4G の携帯電話システムは、無線 LAN と携帯電話のネットワークをシームレスに切り替えたり、どのような環境下でも高速な通信速度を実現したりするという概念だけが定められている状況。

実際に利用する周波数帯や具体的な標準仕様については、2010 年頃の实用化を目指して、国際電気通信連合の無線通信部門 (ITU-R) で検討されている。

NTT ドコモでは、通信技術として、さまざまな通信環境へ柔軟に適應できる「VSF-Spread OFDM(可変拡散率・拡散直交周波数・符号分割多重)」方式と、同じ周波数で複数のアンテナから異なる信号を送信する「MIMO (Multiple-Input-Multiple-Output) 多重技術」を用いた。

使用した周波数帯は 100MHz 幅で、電界強度が低い場所にも関わらず、従来よりも短時間の処理で受信を行うことができた。

受信する信号のうち、正しく伝えられたものだけを分離する方式には、多くの処理量が必要となる「最尤判定法」と、これに加え同社が独自開発した信号分離法が採用されており、その処理量は従来の 1/1,900 に削減された。

また、1Gbps という通信速度を実現するために必要な電波強度も処理量の小さい信号分離法の

1/10 程度で済むようになったという。

NTT ドコモでは、この室内実験での伝送実験成功を受け、今後は屋外における実験の実施も視野に入れた第 4 世代移動通信システムの無線アクセス方式の研究開発を引き続き推進し、国際標準化にも貢献していくとしている。

(12/17)

Mora や MusicDrop でワーナーミュージックが CD 書き出しに対応

レーベルゲートは、同社が運営する音楽配信サイト「Mora」と「MusicDrop」で配信する楽曲のうち、ワーナーミュージック・ジャパンの楽曲について、2004 年 12 月 22 日より 10 回までの音楽 CD への書き出しを許可することを発表した。

「Mora」と「MusicDrop」では、2004 年 11 月 17 日から東芝 EMI の楽曲について音楽 CD 書き出しが許可されている。今回、これにワーナーミュージック・ジャパンの楽曲が加わったもの。

なお、東芝 EMI の楽曲については、ポータブルオーディオプレーヤーへの転送回数は無制限となっていたが、今回配信ルールが変更されたワーナーミュージックの楽曲については 3 回までとなっている。

また、2004 年 12 月 22 日正午より前に購入した楽曲については、新配信ルールでの利用はできない。

(12/17)

アイリバー、カラー液晶搭載 5GB HDD オーディオプレーヤーを発表

アイリバー・ジャパンは、カラー液晶を搭載した 1 インチ /5GB HDD 搭載のオーディオプレーヤー「H10[5GB;color]」を 2005 年 1 月上旬より発売すると発表した。

「H10[5GB;color]」は、26 万色表示に対応した 1.5 型 TFT カラー液晶を搭載し、操作部をタッチパネルとした HDD オーディオプレーヤー。

対応オーディオファイルは MP3/WMA に対応。ビットレートは MP3 が 32kbps ~ 320kbps、WMA は 32 ~ 192kbps をサポートする。WMA DRM にも対応している。

再生周波数特性は 20Hz ~ 20kHz、S/N 比は 90dB(MP3)。ヘッドフォン出力は 18mW x 2(16) で、クラス最高の出力性能としている。

USB ストレージクラスに対応しており、PC からドラッグアンドドロップで音楽データの転送も可能。ただし、WMA の DRM を施したオーディオファイルについては、付属のオーディオソフト「iriver Plus」もしくは Windows Media Player を利用する必要がある。対応 OS は Windows 2000/XP。

「iriver plus」は、新開発のオーディオジュークボックスソフトで、CD リッピング機能やプレイリスト作成機能のほか、Gracenote の開発した MusicID 機能を搭載する。

イコライズ機能は 30 種類のプリセット EQ を装備。ユーザー設定も可能となっている。SRS WOW も搭載している。

また、フォト機能やテキスト表示機能も搭載。フォト機能はデジタルカメラなどで撮影した JPEG データの表示が可能。

さらに FM チューナを搭載し、FM 録音も可能。内蔵マイクによるボイスレコード機能も搭載する。バッテリーは着脱式のリチウムイオンバッテリーで、最大 12 時間の連続再生が可能。

H10 の外形寸法は 54.6 x 99.5 x 15mm(幅 x 高さ x 厚み)、重量は約 96.2g。ボディカラーはネオシルバー/ディープレッド/ミッドナイトブルー/スレートグレーの 4 色。価格はオープン。

(12/17)

OCN MUSIC STORE、配信音楽ファイルの CD 書き込みを可能に

NTT コミュニケーションズは、同社が展開している有料音楽ダウンロードサービス「OCN MUSIC STORE」において、東芝 EMI とワーナーミュージック・ジャパンが提供している約 5 万曲の楽曲の使用ルールを 12 月 20 日に変更、音楽 CD への書き込みが行なえるようになると発表した。

OCN MUSIC STORE ではこれまで、配信された楽曲ファイルは PC、および Windows Media Digital Rights Management (DRM) に対応したポータブルオーディオプレーヤーでのみ再生や転送が可能だった。12 月 20 日からのルール変更では、購入したファイルを 10 回まで音楽 CD(CD-DA)に書き込むことができ

ようになる。

対象となる楽曲は、東芝 EMI と、ワーナーミュージック・ジャパンが提供している計約 5 万曲。料金は 1 曲あたり 210 円 ~ 260 円。ファイルフォーマットは WMA。

また、OCN MUSIC STORE では、OCN 接続会員以外のユーザーが同音楽配信を月額基本料無料で利用できる「OCN コンテンツコース」での提供も開始する。

(12/17)

ソニー、耐寒仕様メモリスティック PRO に 1GB モデルを追加

ソニーは、容量 1GB のメモリスティック PRO「MSX-1GS」を 2005 年 1 月 21 日より発売すると発表した。

動作保証温度を従来の摂氏 0 度 ~ 60 度から摂氏 -25 度 ~ 85 度に向上したモデルで、寒冷地や高温となる車載機器での使用に対応した同社製品としては最大容量となる。動作保証温度以外の仕様は既存モデルと共通。

本体サイズは 21.5 × 50 × 2.8mm (幅 × 奥行き × 高さ)、重量は約 4g。

(12/17)

Infineon、プロセスルール 20nm のフラッシュメモリを開発

独 Infineon Technologies は、世界最小となるプロセスルール 20nm のフラッシュメモリの作成に成功したと発表した。

市場で現在入手できる最も先進的なフラッシュメモリの構造サイズは 90nm。この構造サイズを従来の技術を用いて半分にするには、ナノスケールの物理効果のため、多くの問題に直面している。

同社は、トランジスタにフィンを用意した 3 次元構造を持たせることによって、漏れ電流など微細化に関わる課題を克服した。

新しく開発されたトランジスタは「FinFET (Fin Field Effect Transistor)」と呼ばれ、厚さ 8nm のフィンが幅 20nm のゲート電極によって制御される。

FinFET は、従来のトランジスタが 1bit の記録に約 1,000 個の電子を必要とするのに対し、100 個だけで 1bit を記録でき、さらに 100 個の電子を用いることでもう 1bit 記録できるなど、電気特性に優れるという。

同社では、露光装置など製造に関するすべての課題を解決できた場合、近年中に 32Gbit (4GB) のメモリチップを実現できるとしている。

(12/17)

パナソニックネットワークス、エヴァ・綾波レイ仕様の iPod を発表

パナソニックネットワークスは、同社が展開している通販サイト「LaLaBitMarket」において、アニメ「新世紀エヴァンゲリオン」に登場するキャラクター「綾波レイ」をデザインコンセプトにした iPod を発売すると発表した。

綾波レイをイメージしたという iPod は、第 4 世代 iPod の 20GB モデル「M9282J/A」(33,390 円)をベースにしており、オーディオプレーヤーとしての機能は通常の iPod と同じ。

完全受注生産となっており、受注数が 1,000 個以上で生産・販売され、2,000 個に達し次第受付終了となる。価格は 47,250 円。予約受付期間は 2004 年 12 月 22 日の正午から 2005 年 1 月 16 日まで(予定)。商品の発送は 2005 年 3 月末から行なわれる。

最大の特徴は、劇中に登場する特務機関「NERV」(ネルフ)のマークを、本体の背面にレーザー刻印していること。また、同様のマークをあしらったホワイトカラーの耳掛け式ヘッドフォンを同梱する。さらに、液晶保護シートとホイールフィルムを各 2 枚付属。液晶保護シートには、半透明赤色のネルフマークがデザインされている。

また、レイのプラグスーツをイメージしたというエナメル製のケースを同梱。ホワイトのエナメル質と濃紺の素材を使用。縫製糸は水色と赤を採用しており、彼女の髪の毛と目の色を連想させる仕上がりになるという。

なお、ケースの底面と天面にはコード差込用の穴があり、本体をケースに入れたままでも利用可能。また、フックも付いており、ネックキャリーケースとしても利用できる。

(12/15)

東芝と NEC、次世代不揮発メモリ MRAM の大容量化技術を開発

東芝と日本電気 (NEC) は、次世代不揮発磁気メモリ「MRAM (Magnetoresistive RAM)」の共同開発において、大容量 MRAM の実用化に向けた技術を開発したと発表した。

MRAM は磁化方向により情報の蓄積ができるという磁気特性を利用したメモリ。高速、高密度、無限大の書き換え回数といった DRAM の特長と、電源を切っても情報を保持できるフラッシュメモリの長所を合わせ持つ。

今回開発された技術は、電流の低減とセル面積の縮小という 2 点の課題を改善するもの。

1 つは、情報を蓄積する磁気抵抗素子の形状を、長方形の長辺に半円をつけた形にすることで、書き込み電流を従来の 1/2 にする技術。

もう 1 つは、磁気抵抗素子を選択するトランジスタを素子 4 個に対して 1 つ配置する「高速クロスポイント構造」で、セル面積を DRAM と同程度に抑えながら 250ns の読み出し速度を実現した。

同社は、2005 年度に 250nm ルールの磁気抵抗素子作成技術と 130 ~ 180nm ルールの CMOS 作成技術を用いて、256Mbit MRAM の実現に必要な基盤技術を確認する予定としている。

(12/15)

東芝、容量 80GB の 1.8 インチ HDD を開発

東芝は、容量 40GB および 80GB の 1.8 インチ HDD を開発。40GB の「MK4007GAL」を 2005 年第 1 四半期 (4 ~ 6 月期) より、80GB の「MK8007GAH」同第 2 四半期より量産開始すると発表した。

「MK4007GAL」および「MK8007GAH」は、磁石をディスクに対して垂直に配列させて記録する垂直磁気記録方式を採用した世界初の HDD 製品。

垂直磁気記録方式は、ディスク内が磁化されるとき、信号磁石の S 極と N 極が隣り合って磁化され、相互に磁化を強め合うため、安定的に記録密度を高められる。記録密度は同社従来製品比 33% 増となる 206Mbit/平方 mm で、同社では世界最高としている。

製品の主な仕様は、回転数 4,200rpm、平均シーク時間 15ms で、インターフェイスは Ultra DMA/100、フラッタあたりの容量は 40GB、本体サイズおよびサイズは 40GB が 54×78.5×5mm(幅×奥行き×高さ)、80GB が 54×78.5×8mm(同)/62g。

同社では、今後 0.85 インチ HDD にも垂直磁気記録方式を採用する予定としている。

(12/14)

ジャストシステム、ドコモの「Music PORTER」に音楽ソフト供給

ジャストシステムは、NTT ドコモの「Music PORTER」に音楽データのエンコードや転送を行なうソフトウェア「BeatJam」を供給すると発表した。

「Music PORTER」は、FM ラジオ機能や音楽プレイヤー機能を備えた三菱製ムーバ端末。パッケージには 64MB タイプのマジックゲートメモリースティック Duo のほか、音楽管理ソフトとしてジャストシステムの「BeatJam」が同梱されている。

同ソフトは、音楽 CD のほか、ATRAC3 や MP3、WMA、WAVE の各形式に対応しており、OpenMG 形式にエンコードして、「Music PORTER」に転送できる。対応 OS は、Windows 98/98SE/Me/2000/XP。

またレーベルゲート運営のパソコン向け音楽配信サービス「Mora(モーラ)」から直接楽曲データを視聴したり、購入したりすることも可能。また同ソフト内で楽曲の再生順を設定したプレイリストを作成すれば、「Music PORTER」でもプレイリストによる再生が可能。

(12/10)

レアモノ、LED ディスプレイ搭載のヘッドフォン型 MP3 プレーヤーを発表

サンコーは、直販サイト「レアモノショップ」において、LED ディスプレイを搭載したヘッドフォン型 MP3 プレーヤー「MUBIE JOGGER Sport MP3 Player」を 2004 年 12 月 12 日より発売すると発表した。

「MUBIE JOGGER Sport MP3 Player」は、ヘッドフォン型の MP3/WMA プレーヤー。内蔵メモリは 512MB。

MP3 と WMA の再生に対応し、WMA の DRM もサポートする。対応ビットレートは MP3 が 20 ~ 192kbps、WMA が 32 ~ 320kbps。

ハウジング部に 94×64 ドットの LED ディスプレイを装備し、日本語表示に対応。ID3Tag 表示などが可能となっている。Normal/Rock などの 5 モードのイコライザも備えている。

FM ラジオやボイスレコーディング機能、MP3 形式でのライン録音機能も搭載。PC とのインターフェイスは USB2.0。

バッテリーは 400mAh のリチウムイオンバッテリーで、充電は USB 経由。バッテリー駆動時間は約 10 時間。外形寸法は 49×52×15mm、重量は 50g。

スポーツ時の利用を想定し、ゴム製のネックバンドなどの採用により装着性を高めている。価格は 24,980 円。

(12/9)

ジュークボックスソフト「MUSICMATCH」新バージョン発表

キヤノンシステムソリューションズは、MP3 ジュークボックスソフト「MUSICMATCH MP3 Jukebox 9」を 2004 年 12 月 10 日より発売すると発表した。

「MUSICMATCH MP3 Jukebox 9」は、Fraunhofer IIS 製の MP3 エンコーダを採用した MP3 統合ソフト。MP3 のほか、MP3PRO や WMA のエンコード機能を搭載する。

新たにポータブルオーディオプレーヤーへの連携機能を搭載し、プラグイン無しに、Rio Nitrus などに直接オーディオデータの転送が可能となった。

CD 情報検索機能「MUSICMATCH CD ルックアップサービス」や DVD/CD ライティング機能を搭載。また、プラグインによってサラウンド機能などを拡張できる。イコライザや Auto DJ 機能も搭載する。

3D サラウンド機能を搭載した「MUSICMATCH MP3 Jukebox 9 SURROUND」や、音楽編集ソフト「SoundFOLiO」を搭載した「MUSICMATCH MP3 Jukebox 9 PREMIUM」も合わせて発売される。

SURROUND/PREMIUM 版では 3D サラウンド機能の「QMAXII」を同梱。リバーブ設定や低域/高域調整機能なども備える。また、最上位モデルの

「PREMIUM」では 16 トラックまでの WAV 編集が行なえるオーディオ編集ソフト「SoundFOLiO」も備えている。

価格は 5,040 円。ダウンロード版は 3,465 円。SURROUND が 7,140 円、PREMIUM が 9,240 円。

(12/9)

ソニー、業界最高容量のリチウムイオン 2 次電池を発表

ソニーは、リチウムイオン 2 次電池の新ラインナップを 2004 年 12 月より順次発売開始すると発表した。

筒型「G8」シリーズは缶および電極素子構造の改良により 2,550mAh(従来比 6%増)、ポリマータイプ「A8」シリーズは外装部の薄型化により 830mAh(同 9%増)の容量を実現した。同社では業界最高容量としている。発売は 2004 年 12 月。

「V セル」、「VT セル」シリーズは、ニッケル・マンガン混合系の正極を採用することで高温安定性を高め、電動工具や電動自転車など、これまでリチウムイオンで難しいとされてきた大電流を使用する製品に対応するもの。

V シリーズの「18650V セル」は、最大出力 10A、VT シリーズの「26650VT セル」は最大出力 50A となる。発売は 2005 年 1 月から 2 月を予定している。

このほか、電池パック構造を簡素化、部品点数を半減し、フィルムによるパック外装を採用した携帯電話専用の「S パック」が 2004 年 12 月より発売される。

(12/9)

@nifty、プリペイド対応のコンテンツ決済サービス開始

@nifty は、WebMoney や Edy、iモード Felica などに対応したコンテンツ決済サービス「PLEASY(プリージー)」を 2004 年 12 月 8 日から開始すると発表した。

「PLEASY」は @nifty の会員登録をすることなく、クレジットカード決済や「WebMoney」、「Edy」、「Mobile Edy」などのプリペイド型電子マネーを利用して @nifty のコンテンツを購入できるサービス。

従来まで @nifty は、月額基本料金が無料でコンテンツの料金のみ課金する「@nifty ID 登録ユーザ

ー」というコンテンツ決済サービスを提供していたが、このサービスはクレジットカードの登録が必要だった。

PLEASY でコンテンツを購入するには、WebMoney の場合 16 文字のプリペイド番号を入力、i モード Felica の場合は自分の携帯電話のメールアドレス宛てに課金用の URL を送信する。

Edy での購入、または i モード Felica の Edy 決済を利用する場合は、Edy 用のカードリーダーを別途用意する必要がある。

PLEASY に対応するのは、動画コンテンツ、占いコンテンツ、電子書籍、映画関連コンテンツ、懸賞付きクイズ。今後、他のコンテンツでも PLEASY に順次対応していく予定としている。

(12/8)

ドコモ、音楽プレーヤーケータイ「Music PORTER」発売日を発表

NTTドコモは、音楽再生機能やFMラジオチューナーを搭載した三菱電機製の i モード端末「Music PORTER」(ミュージックポーター)を2004年12月10日に発売すると発表した。

「Music PORTER」は、メモリスティック Duo に保存した音楽データを再生できるミュージックプレーヤー機能を搭載した三菱電機製の i モード端末。

端末は、ポータブル音楽プレーヤーを意識したスクエアデザインを採用。ディスプレイは、約 1.8 インチ、220×176 ドット、26 万 2,144 色表示の全透過型 TFT 液晶を装備。有効画素数 32 万画素の CCD カメラも搭載する。

標準セットには、端末や電池パックのほか、マイク付きリモコンやイヤホン、64MB タイプのマジックゲートメモリスティック Duo などが同梱される。

連続待受時間は約 400 時間、連続通話時間は約 120 分、音楽プレーヤーとして利用した場合の連続再生時間は約 6 時間で、FM ラジオの場合は約 24 時間。

大きさは 76×59×25mm(高×幅×厚)で、重さが約 100g。ボディカラーは、RED、WHITE、BLACK の 3 色。

(12/8)

クリエイティブ、HDD プレーヤー「Zen Touch」の 40GB モデルを発表

クリエイティブメディアは、タッチパッド搭載のポータブル HDD オーディオプレーヤー「Zen Touch」に 40GB モデル(CZT40U)を追加、2004年12月中旬より発売すると発表した。

「Zen Touch(CZT40U)」は、1.8 インチ 40GB HDD を搭載したポータブルオーディオプレーヤー。2004年8月に発売した「Zen Touch 20GB」の HDD を 40GB に強化したモデル。

対応する音声圧縮形式とビットレートは、MP3(8kbps～320kbps)、WMA(8kbps～192kbps)、WAV(8/16bit、16kHz～48kHz)、WMA の DRM 再生もサポートしている。

SN 比は 97dB 以上、チャンネルセパレーションは 74dB 以上、8 ジャンルのイコライザプリセット、4 バンドのカスタムイコライザも利用できる。

2 インチの青色 EL バックライト付き液晶ディスプレイ(160×104 ドット)を装備。操作部には静電式のタッチパッドを採用している。

パソコンとのインターフェイスは USB 2.0。ソフトは Windows エクスプローラ統合型転送ソフトの「NOMAD Explorer」、統合音楽ソフト「MediaSource」が付属。MediaSource 用の Excite MusicStore 専用プラグインもダウンロードできる。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP。

なお、USB ストレージクラスには対応していないが、NOMAD Explorer により、エクスプローラ上からリムーバブルデバイスのように表示され、データをドラッグ&ドロップで転送でき、音楽データ以外のデータも管理できる。

別売のマイク内蔵型 FM ワイヤードリモコン「CNWR-W」を使用し、FM ラジオの録音やボイスレコーディングも可能。

バッテリーはリチウムポリマー充電電池で、連続再生時間は約 24 時間(MP3 再生時)。AC アダプタ充電のほか、USB 充電も行なえる。充電時間は約 4 時間で、USB 充電時は約 8 時間。

HDD の厚みが増したため、外形寸法は 68.6×25.1×105mm(幅×奥行×高さ)、重量は約 220g(バッテリー含む)となり、20GB モデルと比較して、厚みで 3.1mm、重量で約 17g 増えている。

ボディカラーはホワイト。価格はオープン。

(12/8)

USEN、光ファイバサービスの取り付け総数が 11 月末で 21 万件を突破

有線ブロードネットワークス(USEN)は、2004年11月30日現在でのブロードバンド事業の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が前月比 17,246 増の 346,494 件、回線が開通している取付数が前月比 11,725 増の 214,571 件となった。取付数が 4 ヶ月連続で毎月 1 万件を越えて累計 21 万件を突破した。

なお、取付数の内訳では、戸建てが前月比 16 減の 8,503 件、集合住宅が前月比 10,912 増の 190,175 件、法人用途のオフィス・商業ビルが前月比 829 増の 15,893 件となっている。

同様に、集合住宅における 1 棟あたりの平均加入戸数は 5.01(集合住宅 6.65、法人用途のオフィス・商業ビル 1.27)、集合住宅取付棟数は前月比 1,368 増の 41,112(集合住宅 28,588、法人用途のオフィス・商業ビル 12,524)となっている。

(12/7)

エバーグリーン、低価格の 1 インチ HDD プレーヤーを発表

エバーグリーンは、同社が展開している通販サイト「上海問屋」において、4GB の 1 インチ HDD を搭載したポータブル MP3/WMA プレーヤー「HDMP300/HD4」を 2004 年 12 月 7 日より発売した。

HDMP300/HD4 は、容量 4GB、CF タイプの 1 インチ HDD を内蔵したポータブルオーディオプレーヤー。

再生フォーマットは MP3(CBR/VBR/ABR)、WMA(CBR/VBR)、Ogg Vorbis。ビットレートは MP3 が 32～320kbps、WMA が 48～160kbps、Ogg が 64～240kbps。WMA の DRM もサポートしており、日本語の ID3 タグの表示もサポートする。

MP3 エンコーダを内蔵しており、ヘッドフォン出力兼用のアナログステレオ入力(ステレオミニ)端子から本体のみで MP3 ファイルの作成が可能。さらに、マイク

も内蔵しており、ボイスレコーダとしても利用可能。

録音形式は MP3 のみで、ビットレートは 64 ~ 192kbps 間で設定可能。録音時に無音部分を検出し、自動的にファイルを分割する機能も備え、無音検知の幅も 1 秒から 5 秒まで 5 段階に調節できる。

PC との接続は USB 2.0 経由で行ない、ストレージクラスに対応。作成した MP3 ファイルを手軽に PC に転送できるほか、本体への音楽ファイルの転送も同様に行なえる。

ただし、ID3 タグを利用するためには、専用の転送ソフト「AudioPhile」でデータベースを構築するか、Windows Media Player 9/10 で転送する必要がある。なお、同社では Windows Media Player 9/10 を使った転送を推奨している。

電源はリチウムポリマー充電電池を内蔵。連続再生時間は約 9 時間、連続録音時間は最小 1 時間、充電所要時間は約 3 時間。充電は付属の AC アダプタを利用する。外形寸法は 91 × 57 × 17mm (縦 × 横 × 厚さ)、重量は 90g、販売価格は 19,800 円。

(12/7)

Fraunhofer など、5.1ch 対応 MP3 「MP3 Surround」を発表

独 Fraunhofer と仏 Thomson、米 Agere Systems は、5.1ch サラウンド再生が可能な MP3 フォーマット「MP3 Surround」のエンコーダ/プレーヤーの評価版を公開した。

MP3 Surround は、MP3 をベースに 5.1ch などのマルチチャンネル再生に対応したオーディオフォーマット。従来のサラウンドフォーマットに比べ、半分以下のファイルサイズに圧縮できるほか、既存の MP3 ソフトやハードウェアと完全な下位互換性を有しているという。

公開された評価版では 6ch の WAV (拡張 WAV) ファイルから 5.1ch の MP3 Surround を作成できる。ビットレートについては 128kbps 以上での利用が推奨されている。

評価版のエンコーダ「MP3 Surround Encoder」と「MP3 Surround Player」は Windows 2000/XP 版のみ同日公開、Mac OS X 版も 2004 年 12 月 17 日に、Linux 版についても来年公開予定としている。

エンコードにかかる PC への負荷は従来の MP3 ステレオエンコーダより 50%以上高く、デコードについては従来の約 3 倍の負荷がかかるという。なお、MP3 Surround のオーディオデータは S/PDIF 出力も可能となっている。

現在、MP3 Surround に対応している製品は存在しないが、近日中に Fraunhofer は MP3 Surround デコーダライブラリでサポート予定としている。

(12/3)

Rio、カラー液晶搭載 MP3/WMA プレーヤーの 1GB モデルを発表

Rio Japan は、USB 端子を装備したポータブルシリコンオーディオプレーヤー「SU70 シリーズ」に内蔵メモリ 1GB モデルを追加、2004 年 12 月 10 日より発売すると発表した。

SU70 は、WMA/MP3/WAV/ASF に対応したポータブルオーディオプレーヤー。1GB モデル「Rio SU70 1GB」のボディカラーはシルバー。Windows Media Technologies のデジタル著作権管理 (DRM) 機能を搭載する。

96 × 96 ドット/65,000 色表示が可能なバックライト付きカラー液晶ディスプレイを搭載、オーディオファイルのタグ情報確認のほか、歌詞や画像表示、テキスト表示、ゲームなどに利用できる。

ライン入力を装備し、MP3 ダイレクトエンコードが可能。FM チューナやボイスレコーダ機能も搭載する。

スライド式の USB コネクタを装備しており、パソコンに直接接続してデータ転送などが行なえる。USB 2.0 に対応し、ストレージクラスをサポートする。

外形寸法は 84 × 18 × 34mm (縦 × 横 × 厚さ)。内蔵電池を含む重量は 42g。電源はリチウムポリマー充電電池を使用。3 時間の充電で、約 35 時間の連続再生ができる。価格はオープン。

(12/2)

クラリオン、タッチパネルで iPod を操作できるカーAV ユニートを発表

クラリオンは、アップルの HDD オーディオプレーヤー「iPod」を車載 AV ユニートのタッチパネル液晶から操作可能な iPod 対応 DVD/ワイド 7 インチ AV セン

ターユニット」を 2005 年 1 月より米国で発売すると発表した。

iPod と専用のケーブルで接続し、AV センターユニットの 7 型液晶ディスプレイ上に iPod の液晶表示画面や操作キーなどを表示。液晶ディスプレイはタッチパネルとなっており、実際の iPod と同様の操作が AV センターの液晶画面上で行なえる。また、iPod への電源供給/充電機能も備えている。

同社では北米での発売を皮切りに、iPod に対応するオーディオやカーナビ製品などを順次国内や欧州などで発売する。また、自動車メーカーへの OEM 供給も予定しているという。

なお、同製品は 2005 年 1 月にラスベガスで開催される「2005 International CES」に出展予定。

(12/2)

EMD Magazine 第 40 号

発行 2005 年 4 月 24 日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース